

## ごあいさつ

文学研究科長 仁木 宏

大阪市立大学の歴史は古く、その発祥は明治時代にまでさかのぼりますが、大学としての歩みは、1928年に設立された大阪商科大学に始まります。その後、徐々に拡充され多数の学部を擁する総合大学となりました。さらに、大学院教育の重点化も図られ博士課程をもつ研究型大学として発展してきました。文学部は、その歩みのなかで1953年に創設されました。以来、今日いたるまで、一貫して伝統的な基礎学を主軸に時代の変化や社会のニーズに応えられる教育研究を展開して参りました。文学部が飛躍的に発展する契機となりましたのが、大学院重点化を果たした2001年の翌年に文部科学省による世界的研究拠点形成事業の一つである「21世紀COEプログラム」に採択されたことです。「都市文化」をキーワードに文学研究科の総力を結集し、各専門分野の枠を超えた先進的な取り組みに次々と挑戦しました。事業終了後もその実績を活かし、都市文化研究センター（UCRC）を中心にさまざまな研究プロジェクトを立ちあげ、若手研究者の国際的発信力育成のための教育プログラムを維持してきました。アジア、ヨーロッパ、アメリカの各大学との学術的交流にも力を注いできました。2013年には文学部創設60周年を迎え、さらなる挑戦への決意を新たにしたところです。

現在、日本の大学は厳しい競争環境に置かれています。国が推進する大学改革のためのさまざまな実行プランに沿った特色ある教育研究プロジェクトを立案し、他の大学と競い合いながら、資金を獲得していかなければなりません。目下、大学に求められているのは、世界を舞台に活躍できる人材の育成、研究成果を地域社会に還元し地域の発展に資する人材の育成です。このような方向性はけっして間違っていないかもしれませんが、競争に勝つことを優先させるあまり、学問が目新しさや目先の利益を追求する浅いものに変質する危険性ははらんでいます。それは私たちの本意ではありません。もとより、学問研究は、人類の幸福を願う気持ちから生まれたものであり、その営みの真髄はいつの時代も変わらぬものであると思います。文学研究科・文学部は、人間の生み出すあらゆる文化事象に関心を持ち、その価値を問い直し、そのような文化を生み出す人間の本質を探究するところです。人間が幸福に生きるためにはどのような社会や文化が必要なのかを見出すこと、これが私たちの使命であると考えます。

この使命を果たすための営みに是非皆さんにも加わっていただきたく思います。



# 大阪市立大学大学院文学研究科の 4つの特色

## 1. 世界的な研究拠点

21世紀 COE<sup>\*1</sup>プログラム（文部科学省による世界的研究教育拠点形成のための支援事業）や頭脳循環を加速する若手研究者戦略的海外派遣プログラム（日本学術振興会）に採択されるなど、文学研究科は、グローバルな研究拠点としての地位を確立してきました。

文学研究科における研究拠点が都市文化研究センター（UCRC<sup>\*2</sup>）です。都市や文化にかかわる研究プログラムがいくつも、並行して進められ、大きな成果を上げています。UCRCは、雑誌『都市文化研究』やオンライン英文電子ジャーナル"UrbanScope"を発行しています。

文学研究科やUCRCは、アジアや欧米の多くの大学と連携しています。教員や若手研究者の相互交流も盛んで、国際的なシンポジウムが数多く開催されています。

※1 COE：Center of Excellence（卓越した研究拠点）

※2 UCRC：Urban-Culture Research Center

## 2. 優秀な教授陣

文学研究科は、人文学、言語学、人間行動学などの多様な学問分野の教員からなっています。伝統的で確立した体系からなる学問分野はもちろん、アジア都市文化学、表現文化学などユニークな特徴をもつ専攻・専修も擁しています。

教員には、学界で活躍するベテラン、中堅の研究者が多い一方、新進気鋭の若手の研究者も少なくありません。彼ら彼女らによる多彩な研究活動は、国内国外で高い評価を得ており、それは大学院生に対する最先端の教育へと結びついています。

## 3. 若手研究者を育て、伸ばす

文学研究科は、大学院生や、後期博士課程を修了した若手研究者に対して、充実した教育をおこない、安心して研究を進めることができる環境を用意しています。

都市文化研究センターは、若手研究者を「研究員」として採用しています。UCRC研究員になれば、大阪市立大学学術情報総合センター（図書館）を利用したり、『都市文化研究』に投稿することができます。

インターナショナルスクールでは、自らの研究成果を国際的に発信できる若手研究者を育成するため、さまざまなプログラムを用意しています。学会発表や調査のための海外渡航を支援する制度もあります。

## 4. 開かれた門戸

大阪市立大学には、留学生の就学・研究を援助するさまざまな制度があります。学費の減免制度、各種の奨学金などです。社会人で大学院を目指そうとするみなさんには、社会人の特性に配慮した入学試験制度（社会人特別選抜）を設けるだけでなく、入学後、じっくりと研究を進めるための長期履修学生制度などを文学研究科として用意しています。

文学研究科はまた、大阪を中心とする地域での活躍、地域との連携を目指しています。上方文化講座は、大阪の地で育まれた伝統芸能「文楽」を学問的体系のもとで学ぶことができる貴重な場です。大阪市立大学は大阪市博物館協会と包括連携協定を結んでいますが、研究や人材面で文学研究科は大きな貢献をしています。この他、文学研究科教員の研究成果を広く市民に伝えるため、人文選書（和泉書院）、文学研究科叢書（清文堂）を刊行しています。